

9. 桜地区

(1) 地域資源・生活環境の状況

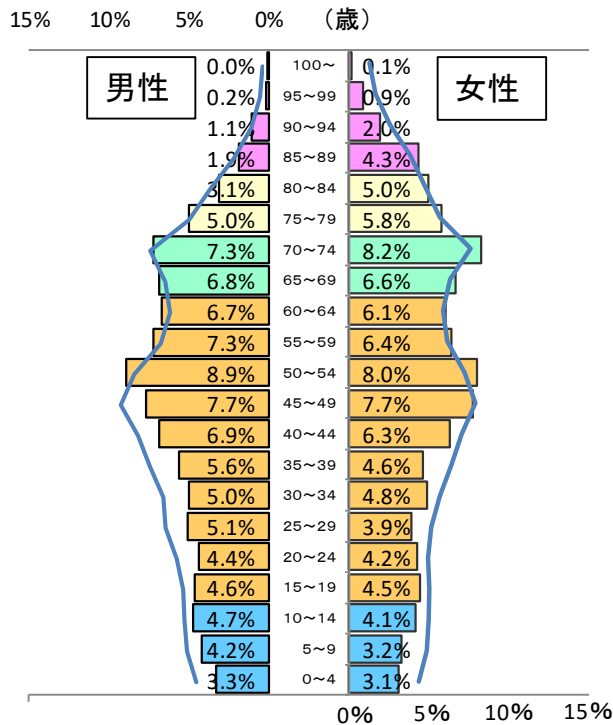
ア 地域資源・生活環境の状況

- ・総人口：8,186人（男性3,891人，女性4,295人）
- ・世帯数：4,243世帯（1世帯あたり1.93人）
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：4,185人

- ・高齢化率：29.4%（市全体25.7%）
- ・後期高齢者比率：14.9%（市全体12.5%）
- ・要介護認定率：22.8%（市全体18.0%）

資料：住民基本台帳人口（R3.9.30）等

図Ⅱ-Ⅱ-1 性別・5歳階級別人口



資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-2 年齢3階級別構成比（R3.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	11.3%	12.9%
15~64歳	59.2%	61.4%
65~74歳	14.5%	13.2%
75~84歳	9.5%	8.6%
85歳以上	5.4%	3.9%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-3 人口指数（R3.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	68.8	62.9
老年人口指数	49.7	41.8
年少人口指数	19.1	21.0
老年化指数	260.4	198.8

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-4 産業別就業人口構成比（R2）

	地区	市全体
第1次産業	0.5%	2.3%
第2次産業	15.9%	25.4%
第3次産業	80.5%	68.6%

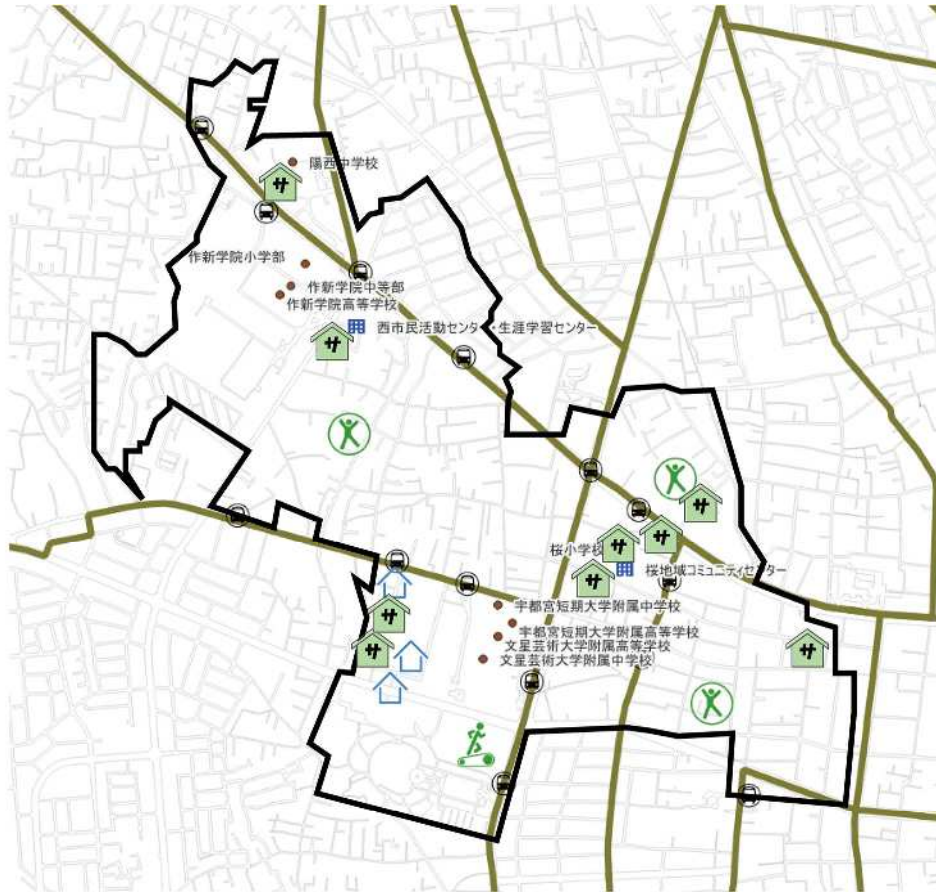
資料：令和2年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	26 自治会
	加入世帯数	2,489 世帯
安全・安心にかかる取組	・毎月8日（休日の場合翌月曜日）8の日運動を実施 - 交通安全推進協議会主催で、桜通り十文字及び三の沢交差点で朝の通勤通学時間に立哨 ・市民総ぐるみ環境点検活動（7月） ・地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施	
スポーツ行事	5・6・10月：グラウンドゴルフ大会 7・12月：ホリデーウォーキング 7月：球技大会 10月：輪投げ大会 12月：チャレンジランキング	
地区イベント	4・6・10月：三の沢川清掃 5・7・8・9・11・12・3月：鶴田川清掃 6・7・8・9月：身体すまいる講座 6・7・8・9・10・11月：わくわく桜 10月：地域内ストップマーク補修 6・10月：クリーンデー 7月：環境点検 毎月1回：歩道のクリーン活動 毎月8日：8の日運動（交差点立哨） 9・10・11月：桜まちあるき講座 11月：一斉パトロール 2月：紙面文化祭作品数：68点（64点・川柳4点）	

資料：令和4年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



バス路線	小・中・高校	地域包括支援センター	運動施設	地域集会所
バス停	地域行政機関	子育てサロン	健康遊具公園	ふれあい いきいき サロン

地域資源			
バス路線（本数）	1,566 本(平日)	運動施設等	1 施設
バス停	14 停留所	健康遊具公園	3 か所
駅	0 駅	地域集会所	3 か所
学校（小中高）	9 校	ふれあい・いきいきサロン	9 か所
地域行政機関	2 施設	スーパー・ドラッグストア	1 店舗
地域包括支援センター	0 施設	病院・診療所	10 施設
子育てサロン	0 施設	歯科診療所	9 施設

【地域の質的状況】

- ・ 桜地区は、市のほぼ中心部に位置し、地域内は主に住宅地で、児童数の減少や高齢者の一人暮らし世帯の増加が見られる。学校、病院、公園、スーパーなどの施設が充実しており、生活環境は整っている地域である。
- ・ 大通り、栃木街道、鹿沼街道等主要な幹線道路があり、東武宇都宮駅にも近く交通の便が良いため、マンション、アパートも数多くあり、他地域からの転入者も多い。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ(令和3年度)等

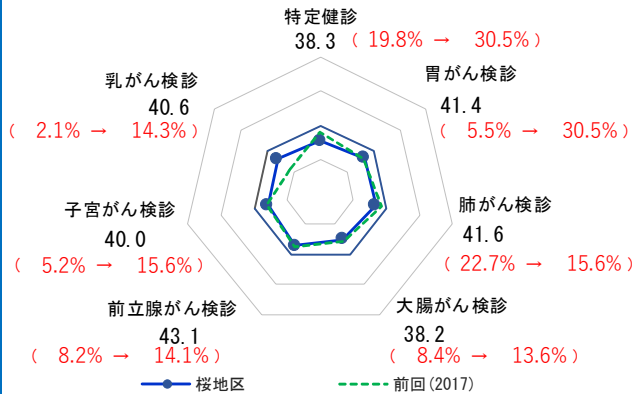
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況

(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90、下限を 10 とした場合の値, * 90, * 10 は上限・下限を超える値)

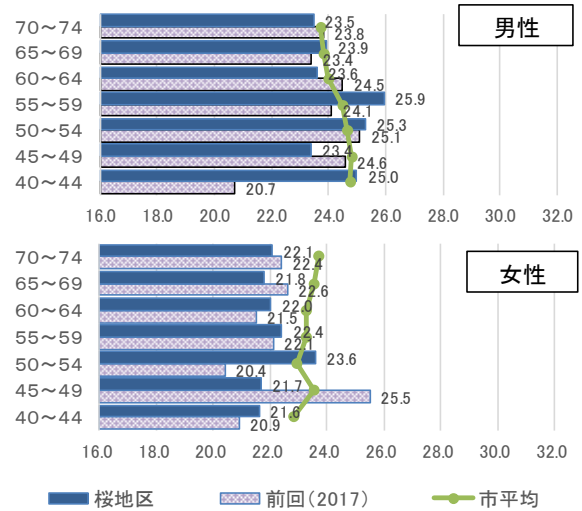
① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

(対象) 特定健診: 国民健康保険被保険者
 胃・肺・大腸がん: 40歳以上
 前立腺がん: 50歳以上 (男性のみ)
 子宮がん: 20歳以上 (女性のみ)
 乳がん: 30歳以上 (女性のみ)
 (40歳以上は2年に1回)



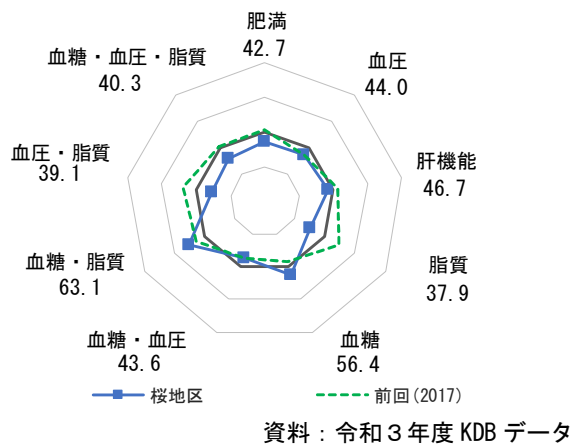
② BMI (年齢別平均値)

(対象) 国民健康保険被保険者



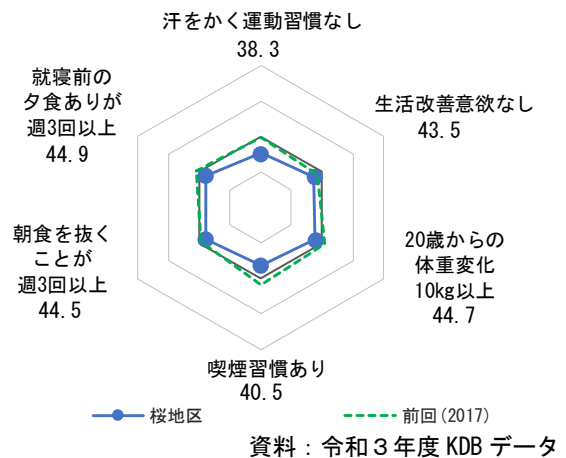
③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者



④ 行動特性 (小さいほど良い)

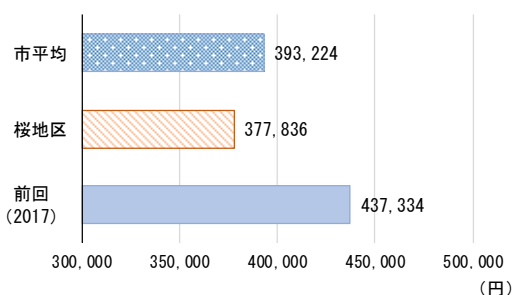
(対象) 国民健康保険被保険者



イ 医療の状況

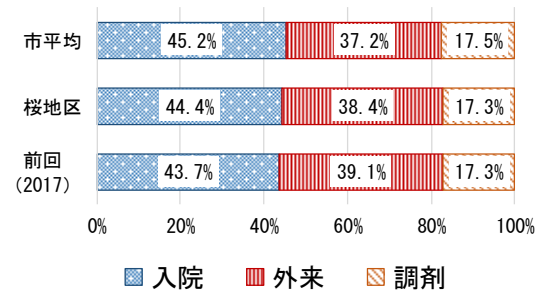
① 1人当たり年間医療費等

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



③ 医療費の内訳（構成比）（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	市全体	地区	前回
糖尿病	4.73%	4.07% (↓)	3.92%
高血圧症	8.33%	8.88% (↑)	4.00%
脂質異常症	0.02%	0.02% (=)	3.30%
高尿酸血症	0.84%	0.72% (=)	0.06%
脂肪肝	0.08%	0.08% (=)	0.28%
動脈硬化症	0.00%	0.00% (=)	0.22%
脳出血	0.15%	0.11% (=)	0.19%
脳梗塞	0.90%	1.12% (=)	1.49%

	市全体	地区	前回
狭心症	1.56%	1.43% (=)	2.62%
心筋梗塞	0.12%	0.05% (=)	0.83%
がん	4.46%	3.10% (↓)	8.65%
筋・骨格	11.37%	12.51% (↑)	10.50%
精神	2.77%	2.38% (=)	2.32%
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0.22%	0.41% (=)	0.08%
慢性腎不全	1.74%	1.31% (=)	5.38%

資料：令和3年度 KDB データ

市全体との差が±0.5%以内：（＝），市全体との差が0.5%より高い（↑），低い（↓）

ウ 介護の状況

① 基本情報

（対象）65 歳以上

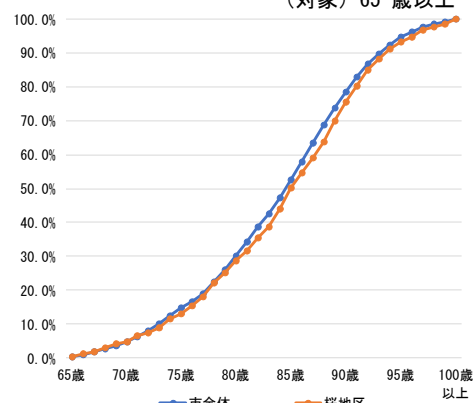
	地区	(市全体)	前回		
1号被保険者数	2,410人		2,356人		
認定者数	550人		494人		
認定率	22.8%	18.0%	21.0%		
【内訳】 人数 構成比					
要支援	要支援1	106人	38.5% (↑)	32.6%	33.0%
	要支援2	106人			
要介護	要介護1	85人	29.5% (↓)	34.7%	31.4%
	要介護2	77人			
	要介護3	65人	32.0% (=)	32.7%	35.6%
	要介護4	62人			
	要介護5	49人			

市全体との差が±1.0%以内：（＝），市全体との差が1.0%より高い（↑），低い（↓）

資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

② 年齢分布（累計）

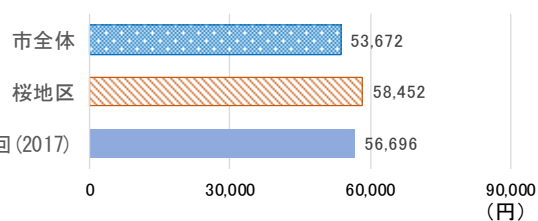
（対象）65 歳以上



資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

③ 1件あたり介護給付月額

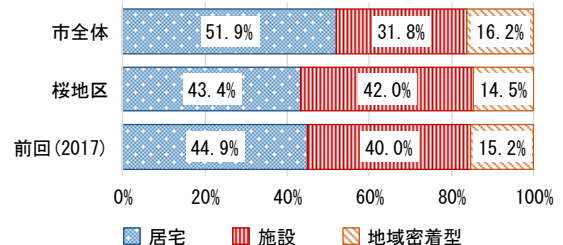
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

④ サービス別介護給付費の割合

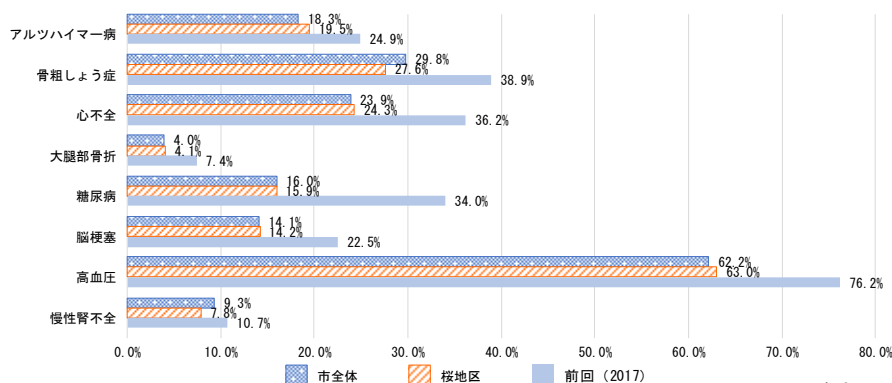
（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

⑤ 認定者の有病率

（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

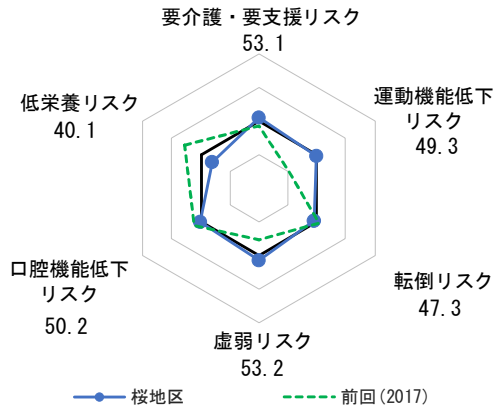


資料：令和3年度 KDB データ

(3) 生活習慣・社会参加

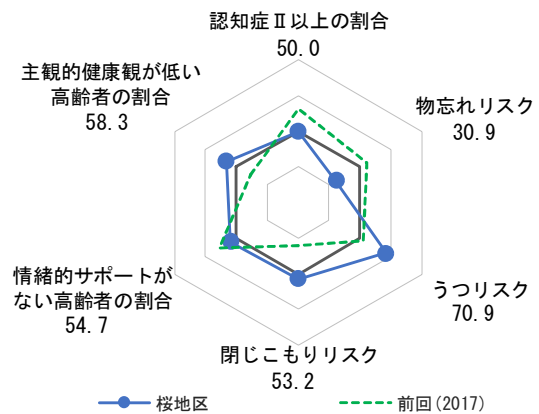
(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90、下限を 10 とした場合の値、* 90、* 10 は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護のリスク (小さいほど良い)



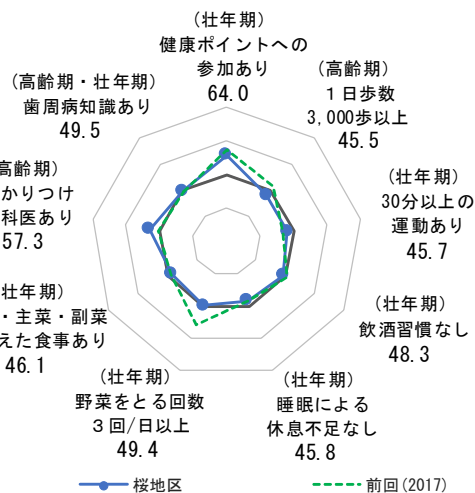
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク (小さいほど良い)



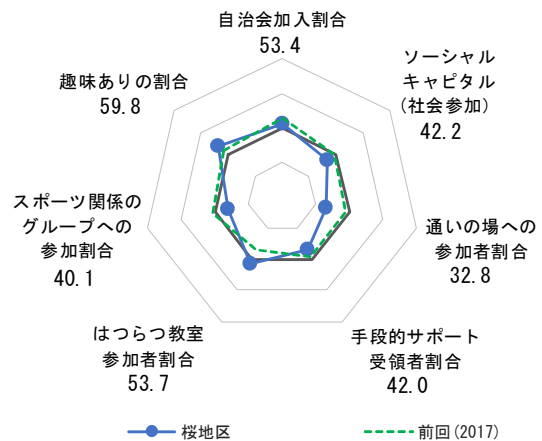
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期、壮年期)

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)

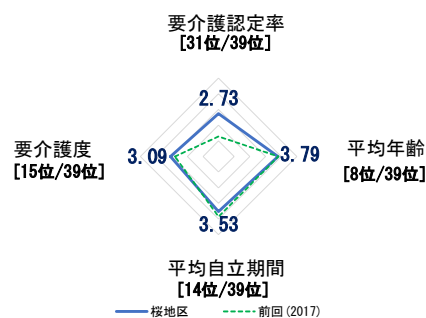


資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

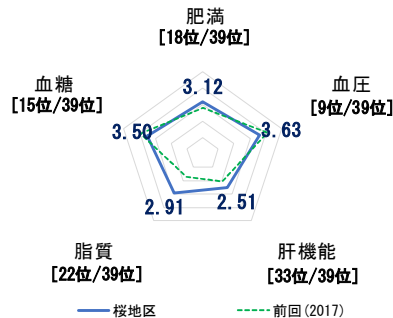
手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

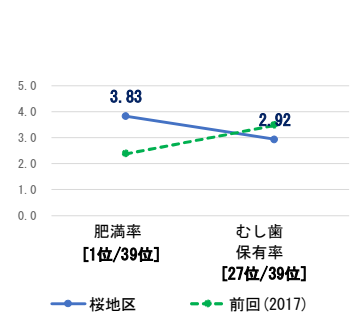
① 介護健康度

13.14 点/20 点 (^^)
【12 位/39 地区】

② 生活習慣健康度

15.68 点/25 点 (^^)
【20 位/39 地区】

③ 子ども健康度

6.75 点/10 点 (^^)
【4 位/39 地区】

※各関連指標は全市を 3 点とした場合の値、市全体より健康度が高い：



低い：



(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べて高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第3次産業」の占める割合が特に高い。
- ・ 防犯訓練のほか、ハイキングやウォーキングなど運動に関する行事や文化祭など、地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「大腸がん」「特定健診」は低く、その他のがん検診もすべてやや低い。
- ・ BMI は、市全体に比べて「55～59歳」の男性と、「50～54歳」の女性が高い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖・脂質」が高く、「血糖」がやや高い。
- ・ 行動特性は、市全体に比べて「汗をかく運動習慣なし」が低い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市全体に比べてやや低く、医療費の内訳は、市全体に比べ「筋・骨格」がやや高い。
- ・ 要介護認定率、1件あたり介護給付月額とも、市全体に比べて高く、サービス別介護給付額の割合は、市全体に比べて「施設」が特に高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「低栄養リスク」がやや低い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「うつリスク」が特に高く、「主観的健康観が低い高齢者の割合」はやや高く、「物忘れリスク」は低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「健康ポイントへの参加あり」が高く、「かかりつけ歯科医あり」がやや高い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「趣味ありの割合」はやや高いが、「通いの場への参加者割合」は低く、「手段的サポート受領者割合」「スポーツ関係のグループへの参加割合」「ソーシャルキャピタル(社会参加)」はやや低い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「平均年齢」「平均自立期間」の点数は市全体に比べて高い。
- ・ 生活習慣健康度は、「血圧」「血糖」の点数が市全体に比べて高い。
- ・ 子どもの健康度は、「むし歯保有率」の点数は市全体に比べて同等であるが、「肥満率」は高い。

イ 地域の課題

- ・ 桜地区においては、市全体に比べて高齢化率・要介護認定率が高く、生活習慣として「うつリスク」が高いことから、高齢期の健康保持増進、介護予防を進めるため、高齢期の生活改善の取組が必要である。
- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「大腸がん」「特定健診」が低いことから、検診受診の重要性の普及啓発など検診の受診率向上の取組を行う必要がある。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「血糖・脂質」が高く、行動特性は「通いの場への参加者割合」は低く、「手段的サポート受領者割合」「スポーツ関係のグループへの参加割合」「ソーシャルキャピタル(社会参加)」はやや低いいため、生活習慣病の発症を予防するために、運動の重要性や正しい運動方法の情報提供を行う等、生活習慣病予防の取組を強化する必要がある。